



2018年
8月01日
No.A18-04

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌 (2018年7月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップミーティング

・7月4日(水)、佐々江 賢一郎・前駐米大使・元外務事務次官「トランプ政権下の米国内政と外交について」(於：ホテルオークラ)。



<要旨>

オバマ政権とトランプ政権を比較しつつ両政権の特徴を説明された。また、トランプ政権の支持基盤や内政、外交の指向や特徴などについて話された。なお、講演はオフレコで行われた。

(2) 講演会

・2018年7月4日(火)、柏原 裕・外務省中東第一課課長「最近の中東情勢」(於：同志社大学東京サテライト・キャンパス「セミナー室」)。



<要旨>

講師より、中東情勢全般と中東安定のための諸課題、およびアメリカ大使館のエルサレム移転を受けた中東和平について、日本政府の立場と対応を踏まえた説明があった。会場からは、パレスチナの国家承認の問題や、アメリカの中東政策などについての質問が出た。なお、講演はオフレコで行われた。

・2018年7月10日(火)、ダニエル・コーエン (Daniel Cohen)、ブラヴァトニク学際サイバー研究センター (ICRC) 上席研究員「Cyber Terrorism: How real is the threat?」(於：外務精励会 大手町倶楽部「セミナー室」)。



<要旨>

講師より、最初にサイバー空間の概要について説明があった。その上でテロ組織が現実の目標を達成する上でのサイバー空間の重要性、インターネットやソーシャルメディアが、規制をかいくぐりながらテロ組織のプロパガンダ、勧誘、メンバー間の連絡に用いられているなどの説明があった。会場からは、ハマースのサイバー空間での活動などについての質問が出た。なお、講演はオフレコで行われた。

2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行 (会員限定)

・2018年7月号 (2018年8月1日付)

1. イエメン・サウジアラビア：フーシー派が紅海上のタンカーを攻撃
2. イラン：ホルムズ海峡封鎖を巡る動き
3. クウェイト：社会に蔓延する偽学位
4. トルコ：米国人牧師身柄拘束による米国の軋轢
5. パレスチナ：ガザ地区の電力事情が悪化

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/)

(2) イスラーム過激派モニターの発行 (会員限定)

- ・No.7「シリア：「シャーム解放機構」の概要」 (7月6日)
- ・No.8「シリア：安田純平氏の動画と「シャーム解放機構」」 (7月18日)
- ・No.9「タジキスタンでの欧米人殺害事件」 (7月31日)

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/)

(3) 中東かわら版の発行

- ・No.36「イラク：ナツメヤシ農業の再興」(主席研究員 高岡豊、7月3日)
- ・No.37「イラン：イラン核合意存続を巡る外相級会合の成果と課題」(研究員 近藤百世、7月9日)
- ・No.38「トルコ：大統領制移行後初の閣僚発表」(研究員 金子真夕、7月11日)
- ・No.39「シリア：ホワイトヘルメットの末路」(主席研究員 高岡豊、7月17日)
- ・No.40「イスラエル：国会が国民国家法案を可決」(研究員 西舘康平、7月19日)
- ・No.41「エジプト：シーシー大統領がスーダンを訪問」(研究員 西舘康平、7月26日)
- ・No.42「イエメン：バーク・ル・マンドゥブ海峡のタンカー通過禁止とその影響」(主席研究員 高岡豊、7月27日)